

# 木曾川町連区 第21号 地域づくり協議会だより

発行日：平成28年 7月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会  
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005  
メールアドレス [k-chiiki@orihimene.jp](mailto:k-chiiki@orihimene.jp)  
ホームページ <http://138kisogawa.org>

検索：木曾川町連区

\*\*\* 新部会長あいさつ \*\*\*

「安全・安心な町に！」

安全安心部会長 国井 紀元

安全安心部会は、文字通り「安全・安心な町に！」をキーワードに、活動を進めていきます。東日本大震災から5年余でまたも、4月に熊本地震が発生しました。

広範囲の連続地震で、甚大な被害により避難者も当初約10万人を超え、救助・食料等の支援も厳しい状況でした。地震の発生状況も知見が想定していない事柄もありました。私たちが南海トラフ地震発生への防災力を高める取り組みの必要があります。

継続事業としては、防災訓練を黒田小学校において、校区内の町内会を主体に、10月16日(日)に実施します。防災訓練の重要性がより強くなったと思います。

親子着衣水泳講座は、8月11日(木)に木曾川西小学校において開催予定です。実施方法については、より効果的な講座となるように見直しをして、木曾川文化・スポーツクラブ、小学校PTAを主体に、地域づくり協議会構成団体の協力を得て実施します。

新しい事業としては、高齢者に多い交通事故の減少を目指して、4月22日に高齢者自転車講習を開催しました。

また、木曾川町の平成27年中の犯罪発生状況は、前年

比では微減しましたが、依然一宮市内では多い地域となっています。そこで地域全体で防犯意識を高め、犯罪の減少を目指し「防犯ステッカー」を作成します。デザインは小中学生からの応募により、優秀なデザインを採用します。ステッカーは、全戸に配布して玄関先の門扉やポスト等に貼っていただき、住民の皆さんの「監視の目」で犯罪抑止を目指します。配布されたステッカーは、ぜひ玄関先等に貼って頂きますようお願いいたします。地域全体での取り組みが効果を高める活動ですので、ご協力をお願いします。

交通安全活動・防犯活動については、活発な地域の活動を参考に、多くの地域で一步でも、一人でも出来ることを行動し、安全安心な町づくりを進めていきたいと考えています。



防 災 訓 練



親子着衣水泳講座

## 「共助」の思いを大切に！！

思いやり部会長 日比野 洋一

思いやり部会は、世代を超えた住民間のふれあいと絆を深め、一人ひとりが生き生きと健やかに暮らせるまちづくりを目指した活動に取り組んでいます。具体的には、“見守りネットワーク事業”と“敬老会事業”を社会福祉協議会木曾川支会など関係諸団体と連携しながら推進してきました。今年度も継続していくことが、先日の地域づくり協議会総会で承認されました。しかし、昨年度までの部会員による意見交換の中でいくつかの課題も出てきました。

特に、“見守りネットワーク事業”は平成20年度に推進委員会設置要綱が作成され、その後、毎年小冊子を町内回覧する方法で啓蒙活動に取り組んできました。しかし、要支援者の対象者が多岐にわたり、なかなか実態がつかめず、具体的な見守り活動に繋がっていないのが現状です。



「八幡いきいきサロン」(今年の2月発足)

見守り活動に最も必要なことは、日常生活における地域の人と人のつながり、関係づくりです。見守られる側と見守る側との信頼関係をどう築くか、希薄になっている住民同士の連帯感を再構築するために何ができるか。(例えば、町内会毎に要支援者台帳やマップを作成する、高齢者が気楽に集まる場として「ふれあいサロン」の拡充を図る取組など・・・)見守りネットワーク事業を活性化し、より実効力のあるものにしていくために具体策を話し合い、提言していきたいと考えています。

一方、市が実施している大規模災害に備える災害時要支援者制度に伴う避難行動要支援者名簿づくりや在宅医療・介護連携推進事業の普及啓発活動などにどう関わっていくかも今後の検討課題になると思います。

こうした活動を推進するためには、社会福祉協議会木曾川支会、連区町会長協議会、民生児童委員協議会、地域福祉ネットワーク会議、老人クラブ連合会など関係諸団体との連携と共に、各町内会単位の助け合いネットワークづくりが大切になると思います。連区の住民の皆様一人ひとりが「共助」の思いを一つにしてふれあいと絆を深められようご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 「 活力あふれるまちづくり！ 」

活気部会長 日比野 隆夫

このたび、前任の山口部会長の後任として活気部会の部会長として、4月から務めさせて頂くこととなりました日比野隆夫でございます。何分にも不慣れなことばかりで、ご迷惑をおかけするかと存じますが皆様方のお力をいただきながら務めさせて頂きましますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、活気部会とは生涯健康で楽しく暮らし、世代間の連携と活力あふれるまちづくりを目標として、活動を進めるものであると思っております。その中で、地域の人々のつながりを大切に、元気で活気あふれるまちづくりを推進することによって木曾川連区らしさをだせていければと思っております。部会の構成団体には、多岐にわたる団体の皆様方をお願いしており、それぞれの活動の連携を深めより良い活動を目指して行きたいと思っております。

何卒、活気部会へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



文化祭・芸能祭

## 女性ならではの「やわらかい心」で

女性部会長 宮崎 初美

この度、地域づくり協議会女性部会の部会長に任命されました、黒田地区の宮崎初美です。部会長という大役を任せられ、不慣れで分からないことばかりで戸惑っていますが、重責を果たしていく所存です。皆様の温かいご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

昨年度、「女性目線で地域づくりを考える」という目的で、日頃から地域に根付いたボランティア活動などを行っている有志が集まり、何度か座談会をしました。毎回、話題豊富な皆さんと、自分の体験談、現状抱えている問題、将来の希望や夢、不安な事等、幅広い分野で色々な目線での楽しい話し合いが続き、時間が過ぎるのを忘れてしまいました。ほとんどの皆さんが木曽川町で生まれ育ったわけではありませんが、結婚して家庭を築き、子育てをしているうちに、環境も良く、住みやすく温かい「木曽川町」に愛着を持った、地元愛にあふれた方ばかりでした。そして「これからも良き仲間と楽しい人生をここで過ごすためにも、自分たちの地域を大事にしていきたい」と意見が一致しました。

そこで、今年度から「女性の視点から、地域のふれあいと絆を深め、活力ある町づくりを推進すること」を目的として、「女性部会」が発足しました。どなたも熱い想い、意見があり、今後どのような活動が広がっていくか楽しみです。

まずは、各部会の諸先輩方と活動を共にし、地域づくり協議会の仕組み、役割を理解し、「女性部会として出来る事が何かを見つける事」が初年度の目標となります。

女性部会は、幅広い方のご意見をいただきたいという思いから「有志」で構成されています。今後もたくさんの方々の参加を希望しておりますので、興味がある方は是非、女性部会のメンバーになっていただきたいと思います。

地域づくり協議会に、女性ならではの「やわらかい心」での考えや意見を取り入れていただき、「老若男女、みんな元気で心も未来も明るい木曽川町」を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 「 情報収集にご協力を！ 」

広報部会長 宇佐見 正重

地域づくり協議会が発足して2年経過し、協議会だよりも7月1日号で21号となります。各地区の区長さんによるお国自慢や学校・保育園の紹介、当協議会に参加している団体紹介等によって、地域の特色や活動内容をお知らせしてきました。また、地域づくり協議会が中心となって、防災訓練、着衣水泳等の有意義な活動がはじまり、その模様や敬老会、文化・芸能祭等の行催事を掲載してまいりました。

広報部会の役割は地域の情報を収集することと、地域づくり協議会や各種団体の活動をお知らせすることです。しかし、地域づくり協議会の活動が住民の皆さんに未だ十分周知されているとは言えません。また、地域の皆さんが当協議会に何を望まれているのか、どのような情報を求められているのか、より多くの声を幅広く聞き、協議会の活動に反映させなければなりません。毎日の生活上の問題から災害や犯罪に対する不安、子供達からお年寄りまで年齢、性別、住んでいる地区の環境などによって考え方はいろいろです。住民が安心して快適に暮らせる町づくりをめざし、限られた原資を有効に効率よく配分するためには、皆さんの思いをよりの確に理解することが大切です。

そこで、地域の課題と住民の要望を把握するために、アンケートの実施を計画しています。また、昨年8月よりスタートした木曽川町連区地域づくり協議会のホームページを活用したいと思っております。当協議会への注文や木曽川町町会長協議会、区長会を初め各種団体への要望や提言などご意見箱への投稿をお待ちしています。

“ホームページ <http://138kisogawa.org> 検索：木曽川町連区”

平成27年度 木曾川町連区地域づくり協議会収支・決算書

【歳入】

単位：円

区 分	決 算 額	備 考
社会福祉協議会木曾川支会 交付金及び補助金	2,286,530	地域交通安全推進事業、地域防犯活動推進事業、敬老会事業、学校外活動推進事業 公民館事業、健康づくり推進事業、防災訓練事業
連区交付金	1,146,200	公民館事業、健康づくり推進事業、防災訓練事業
諸収入	802,856	
繰越金	1,430,491	
地域づくり協議会交付金	7,205,000	
計	12,871,077	

【歳出】

単位：円

区 分	決 算 額	備 考
会務費	57,526	
内 訳		
事務費	39,226	消耗品費
会議費	18,300	総会、部会開催経費
事業費	10,866,368	
内 訳		
安全安心部会	1,117,566	交通安全 321,944 防犯協会 282,771 資源回収推進協議会 106,000 防災訓練 220,203 着衣水泳講習事業 186,648
活気部会	4,525,219	高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会 918,908 学校外活動推進委員会 172,319 公民館 2,604,002 健康づくり推進連絡会 829,990
思いやり部会	4,538,688	社会福祉協議会支会（見守り） 54,158 社会福祉協議会支会（敬老会） 4,484,530
広報部会	684,895	
予備費	177,884	
繰越金	1,769,299	
計	12,871,077	

平成28年度 木曾川町連区地域づくり協議会 予算

【歳入】

単位：円

区 分	予 算 額	備 考
社会福祉協議会木曾川支会 交付金及び補助金	2,281,000	地域交通安全推進事業、地域防犯活動推進事業、敬老会事業、学校外活動推進事業 公民館事業、健康づくり推進事業、防災訓練事業
連区交付金	1,116,000	公民館事業、健康づくり推進事業、防災訓練事業
諸収入	736,701	
繰越金	1,769,299	
地域づくり協議会交付金	7,436,000	
計	13,339,000	

【歳出】

単位：円

区 分	予 算 額	備 考
会務費	250,000	
内 訳		
事務費	150,000	消耗品費
会議費	100,000	総会、部会開催経費
事業費	12,408,000	
内 訳		
安全安心部会	1,978,000	交通安全 742,000 防犯協会 350,000 資源回収推進協議会 436,000 防災訓練 250,000 着衣水泳講習事業 200,000
活気部会	5,029,000	高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会 1,151,000 学校外活動推進委員会 247,000 公民館 2,660,000 健康づくり推進連絡会 971,000
思いやり部会	4,801,000	社会福祉協議会支会（見守り） 97,000 社会福祉協議会支会（敬老会） 4,704,000
広報部会	600,000	
予備費	681,000	
計	13,339,000	